



神奈川県

KANAGAWA

県庁 ライト ブルー トー

世界
糖尿病
デー

2019.11.14 THU - 11.17 SUN

神奈川県では「食」「運動」「社会参加」を基本に、未病改善の取組みを進めています。

共催 神奈川県・神奈川県糖尿病対策推進会議

お問い合わせ

神奈川県健康医療局保健医療部健康増進課 045-210-4784



詳しくはコチラ
をチェック

世界糖尿病デー [11月14日] “ブルーライト県庁”

笹生 正人 医師

11月14日「世界糖尿病デー」のシンボルであるブルーサークルにちなんで、キングの塔を青くライトアップします。



概要

日時: 2019.11.14(木) 17:00~17:50 *ライトアップは21:00まで

会場: 神奈川県庁本庁舎 正面玄関

内容: 点灯、コンサート及びトークイベント

演奏: 神奈川県警察音楽隊

トークイベント: 神奈川県医師会理事 笹生正人医師

テーマ「血糖値が高い!? 今こそ知ろう糖尿病」

先着100名様にかなふうトートバッグ他プレゼント!

11.15(金)~
11.17(日)
ライトアップ
18:00~21:00



神奈川県警察音楽隊



食育マスコット
かなふう

世界糖尿病デーについて world diabetes day

世界に広がる糖尿病の脅威に対応するために1991年にIDF(国際糖尿病連合)とWHO(世界保健機関)が制定し、2006年に国連により公式に認定されました。11月14日は、インスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日でもあります。

世界糖尿病デーのキャンペーンに用いられる、青い丸をモチーフにしたシンボルマーク「ブルーサークル」は、国連のイメージカラーであり、どこまでも続く空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインしたもので、キャッチフレーズは“Unite for Diabetes”(糖尿病との闘いのため団結せよ)です。

(参考:世界糖尿病デー実行委員会ホームページ)

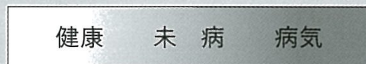
生活習慣病対策について

不適切な食生活や運動不足などの不健康な生活習慣は、やがて糖尿病、高血圧症、脂質異常症、肥満症などの生活習慣病の発症を招きます。こうした疾患が重症化すると、虚血性心疾患や脳卒中などの発症に至る経過をたどります。生活習慣病対策として、食や運動などの未病改善の取組みが大切です。

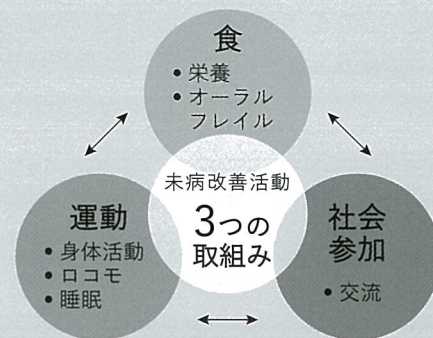
未病とは?

健康と病気の二分論の概念で捉えるのではなく、心身の状態は「健康」と「病気」の間を連続的に変化するものとして捉え、この全ての変化の過程を表す概念です。日常生活において「未病改善」*に取り組むことにより、心身をより健康な状態に近づけていくことが大切です。

*「未病改善」…心身の状態の変化の中で、日ごろから特定の疾患の予防にとどまらず、心身をより健康な状態に近づけていくことをいいます。



← 未病の改善



未病改善ヒーロー
ミビョーマン

神奈川糖尿病デー2019 市民講演会

- 日時: 令和元年 11月10日(日) 本イベント 13:00~16:00 展示・体験コーナー 12:00~17:00
- 会場: はまぎんホールヴィアマーレ(神奈川県横浜市西区みなとみらい3-1-1)
- テーマ: 「いつまでも若く元気で美しく~サルコペニア(体力・筋力低下)を予防しよう~」
- 内容: 糖尿病 寺内医師などが、糖尿病の予防や重症化予防について分かりやすく解説します。
- 参加費: 無料(事前申込不要)
- お問い合わせ: 神奈川県医師会地域保健課 045-241-7000